

2019（令和元）年度 成田市社会人チャンピオンシップ（大会結果）

玉造SCが2年ぶり6度目の王座に振り返り咲く（※玉造SC側の規定違反発覚で没収試合となる）

- 日時：平成32年1月12日（日）PM3時～ ■場所 中台球技場 ■試合時間：30-5-30 ■天候：小雨
- 審判：主審：西林、副審：宮野、富澤、予備審：濱田、記録：江角
- 主旨：前年度の1部リーグ優勝チームとトーナメント大会優勝チームとが対戦する成田市社会人ナンバー1を決める大会。今回は令和初王者決定戦になります。対戦カードは昨年度に二冠（H30年度リーグ戦優勝・選手権優勝）の栄ハーバーライツと、2年ぶりの王座奪還に挑む玉造SC（H30年度リーグ戦2位）となります。

玉造サッカークラブ 3 - 1 栄ハーバーライツ

- 得点：後半7分：⑭谷口 後半13分：⑤高橋 後半21分：⑨飯島 後半4分：⑭竹中
- 戦評：布陣は玉造が4-4-2、栄が4-2-3-1。栄が両サイドバックの攻撃参加がスタイルなら、玉造は底（守備）から押上げてボール保持し相手DF裏を狙う形。前半は双方相譲らず無得点。後半先制したのは栄だったが、その後玉造が前線に手数をかけて追いつき、その6分後に逆転、栄の運動量が落ちて玉造の追加点が決まって勝負あり。後半始めは栄のペースだっただけに惜しい結果となった。
- 前半は双方とも相譲らず、両チームにいくつかチャンスはありながら0-0で前半終了。
- 後半4分：まず試合を動かしたのは栄でした。左サイドから崩し、⑭竹中選手に絶妙のパスがわたると、相手DFと競り合いながら放ったシュートが決まり栄がまず先制。
- 後半7分：玉造も逆襲します。相手ゴール前で競り勝って強烈なシュートを放ち、相手GKがブロックしたボールを再び蹴りこんで振り出しに戻します。
- 後半13分：玉造の⑤高橋選手がスピードに乗ってPEエリアに侵入し、放ったシュートが決まり逆転。
- 後半21分：栄の運動量が落ちてきた時間帯。玉造攻撃陣が右サイドからドリブルで侵入し角度を作って放った強烈なシュートを畑村GKが一旦はブロックしますが、こぼれた所を、再び押し込まれて3点目を献上し勝負ありの感が漂います。試合は最後に栄が攻めますが玉造守備陣も譲らず、3-0のまま試合終了。同時に玉造SCが令和初の成田市社会人No.1の座についた。

後日、玉造SC側に規定違反が発覚し王座剥奪となった。いい試合だっただけに残念な結果となった。

位置	背番号	名前	備考
GK	30	川上 秀治	
DF	7	辻 将史	
DF	10	高橋 一樹	
DF	8	鎌形 忠史	後半9分OUT
DF	21	鈴木 峻	後半●分OUT
MF	6	古木 将平	
MF	5	高橋 尚也	
MF	12	清水 亮太郎	
MF	17	蓮見 大直	
FW	14	谷口 昆児	後半10分OUT
FW	13	甲斐 幸洋	後半●分OUT
SUB			
SUB	2	高橋 祐介	後半●分IN
SUB	15	宮岡 侑矢	後半●分IN
SUB	9	飯島 照明	後半13分IN
SUB	13	黒川 竜治	後半9分IN

■監督 飯島 照明



位置	背番号	名前	備考
GK	1	畑村 幸生	
DF	2	篠崎 彰弘	
DF	40	諏訪 恒丞	
DF	38	村上 有紀	後半20分OUT
DF	5	座間 智也	後半●分OUT
MF	10	中嶋 鉄矢	
MF	11	安藤 善行	後半●分OUT
MF	14	竹中 優太郎	
MF	50	岩瀬 健志郎	
MF	35	長谷川 大輔	前半20分OUT
FW	28	羽石 尚吾	後半●分OUT
SUB			
SUB	7	南本 悠佑	後半●分IN
SUB	17	山田 啓裕	前半20分IN、後半16分OUT
SUB	31	藤谷 航平	後半20分IN
SUB	39	織田 昆矢	後半16分IN
SUB	41	篠原 博樹	後半8分IN
SUB	43	安藤 翔太	後半8分OUT
SUB	44	山口 郁弥	後半●分IN

■監督 中嶋 剛介



玉造SC(H30リーグ 準優勝)

栄ハーバーライツ(H30リーグ、選手権優勝)



GK川上選手



CAP古木選手

■優勝チームへのインタビュー（1問1答）
 ・戦術・試合プラン：布陣は4-4-2、（足元が）ウェットだったのでシンプルにプレーし、後半に前に人手をかけ相手DF裏を攻めるだった。
 ・MVPは誰か：3点目の飯島さんとGK川上さん。点差以上に危うい場面もあったが、GKからの的確なコーチングで耐えることができた。
 ・今後の抱負：この勢いで選手権も制覇したい。【古木CAP】
 ・注意点：相手FWが複数残っている事があり、こちらの攻撃時に守備陣へのコーチングに気を使った。若手の足手まといにならずよかった【GK川上選手】

成田市(社会人)チャンピオンシップ・歴代優勝チーム (Rev1)

玉造SCが令和初の王座についたが、規定違反発覚のため王座剥奪となる

■成田市社会人最強チーム決定大会として平成6年に第1回大会を開催し、今年度で26回目となる。大会初期はAMJガンナーズ(現ガンナーズ)や成田キッカーズ(NK)の黄金時代だったが、平成11年からペルー軍団ALF成田コンドルが参戦、NKとの熾烈な戦いが記憶に残る。平成15年台から栄ハーバーライツやFCオクトパス、ACT OUT JFCが台頭しはじめ、平成20年代になると玉造SCとFORZAの2強対決が続いた。近年はルーキーズとSALVATORE等の新勢力が加わり社会人No.1の座を激しく争っている。今年度大会は、玉造SCが前年度主要大会2冠の栄ハーバーライツを退け王座に就いたが、後日、登録外選手起用が発覚したため王座剥奪となった。これにより2019(令和元)年度チャンピオンシップ大会優勝は異例の空位となった。

	実施年度	優勝		対戦相手	備考
第1回	平成6年度	SSFC	2	対 1 AMJDミンゴ	記録確認中
第2回	平成7年度	成田キッカーズ	5	対 0 成田キッカーズ	H 6 リーグ(ガンナーズ)、SS杯・選手権(NK)
第3回	平成8年度	成田キッカーズ	-	対 - 成田FC	H 7 リーグ(NK)、SS杯(TOMISATO)、選手権(NFC)
第4回	平成9年度	成田キッカーズ	-	対 - FC TOMISATO	H 8 リーグ・SS杯・選手権(NK)
第5回	平成10年度	成田キッカーズ	2	対 0 サボターズ	H 9 リーグ・SS杯(NK)、選手権(サボターズ)
第6回	平成11年度	ALF成田コンドル	1	対 0 NSCフェニックス	H10 リーグ(NSC)、SS杯・選手権(ALF)
第7回	平成12年度	記録確認中	-	対 記録確認中	H11 リーグ(NK)、SS杯(ALF)、選手権(...)
第8回	平成13年度	記録確認中	-	対 記録確認中	記録確認中
第9回	平成14年度	記録確認中	-	対 記録確認中	記録確認中
第10回	平成15年度	記録確認中	-	対 記録確認中	H14 リーグ(オフサイド)・選手権(...)
第11回	平成16年度	記録確認中	-	対 記録確認中	H15 リーグ(栄)・選手権(佐原)
第12回	平成17年度	ALF成田コンドル	4	対 2 栄ハーバーライツ	H16 リーグ(栄)・選手権(ALF成田コンドル)
第13回	平成18年度	FCオクトパス	4	対 1 成田キッカーズ	H17 リーグ(NK)・選手権(オクトパス)
第14回	平成19年度	栄ハーバーライツ	5	対 0 成田キッカーズ	H18 リーグ(NK)・選手権(栄)
第15回	平成20年度	ACT OUT JFC	4	対 2 栄ハーバーライツ	H19 リーグ・選手権(オクトパス)、リーグ2位(ACT)
					※H19両大会優勝のオクトパスがリーグ脱退のため、選手権2位の栄HBRTとリーグ2位ACTとの対戦となった
第16回	平成21年度	ACT OUT JFC	4	対 4 成田選抜	H20 リーグ(ACT)・選手権(未開催)
第17回	平成22年度	FORZA	3	対 0 ACT OUT JFC	H21 リーグ(ACT)・選手権(FORZA)
第18回	平成23年度	玉造SC	3	対 0 FORZA	H22 リーグ・選手権(玉造)・リーグ2位(FORZA)
第19回	平成24年度	玉造SC	2	対 0 FORZA	H23 リーグ・選手権(FORZA)・リーグ2位(玉造)
第20回	平成25年度	玉造SC	8	対 7 FORZA	H24 リーグ・選手権2位(玉造)・リーグ・選手権優勝(FORZA)
第21回	平成26年度	玉造SC	3	対 0 SALVATORE	H25 リーグ・選手権1位(玉造)・リーグ2位(SALVATORE)
第22回	平成27年度	ルーキーズ	1(5)	対 1(4) 玉造SC	H26 リーグ(玉造SC)・選手権(ルーキーズ)
第23回	平成28年度	ルーキーズ	3(5)	対 3(4) SALVATORE	H27 リーグ(ルーキーズ)・選手権(SALVATORE)
第24回	平成29年度	玉造SC	5	対 3 FORZA	H28 リーグ(ACT)・選手権(FORZA)
第25回	平成30年度	ACT OUT JFC	3	対 1 SALVATORE	H29 リーグ(SALVATORE)・選手権(ACT OUT JFC)
第26回	令和元年度	玉造SC(規定違反により王座剥奪)	3	対 1 栄ハーバーライツ	H30 リーグ・選手権(栄ハーバーライツ)・リーグ2位(玉造SC)



■玉造SCは2年振り6度目の王座に振り返りが、この後、反則発覚で剥奪となる

■栄のゴールを死守する畑村GK



■破れても笑顔の栄ハーバーライツ

■審判団(左から、富澤、西林、宮野)

■玉造SCは試合に勝利するも王座剥奪となった